

5月新着本案内

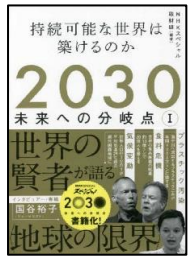
2022年5月号
瀬木学園図書館



● 『大学生のためのビジュアルリテラシー入門』 原木万紀子著
情報の伝達のためにどのように視覚情報を提示したらよいか、また受け取る側の読み取り方を考えます。(002.7/H32)



● 『心理学論文解体新書』 近藤龍彰編著
目からウロコの心理学術論文読解術の本です。実際の論文を素材に、読み方の着眼点や、資料のまとめ方などが解説されています。(140.7/Ko73)



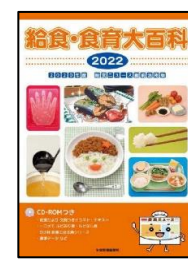
『持続可能な世界は築けるのか』 NHKスペシャル取材班編著
世界規模の異常気象・人口爆発と食料危機・プラスチック汚染、3つのテーマについて世界の賢者が考えます。(304/E/1)



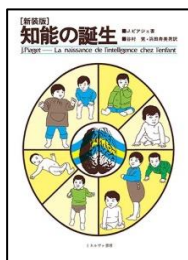
『「家族介護」のきほん』 介護者ネットワーク・アソシエーション著
介護者の暮らしや人生に寄り添った、リアルな在宅介護の乗り切り方がたくさん載っています。(369.26/カ)



● 『勝てる小論文・面接: 教員採用試験 2023年版』 吉岡友治著
体罰・いじめ・不登校などをテーマ題材に、小論文・面接対策のコツが解説されています。(373.7/Y92/2023)



『給食・食育大百科 2022』 少年写真新聞社編集
給食だより作成に役立つ1冊です。付録のCD-ROMには月別イラストや、給食だよりの文例などを収録！(374.94/シ/2022)



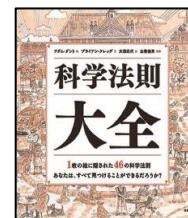
『知能の誕生: 新装版』 J.ピアジェ著
著書自身の子どもたちを緻密に観察し、発達心理学の原点の概念を確立した、重要な本です。子どもはどのような過程を経て、ヒトになるのか。(376.11/ピ)



『配慮を必要とする子どもの「要録」文例集』 藤原里美著
配慮や支援のノウハウの例が載っています。また要録の記入だけでなく、子どもとの関係づくりが大切です。(376.14/フ)



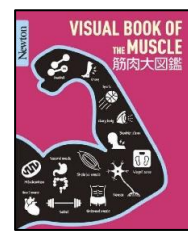
● 『教養としての中学理科』 三澤信也著
理科に楽しいイメージがなかった人こそ読んで欲しい1冊です。身近な話題をとっかかりにして中学理科を学んでみると、発見がたくさんありますよ。(400/Mi51)



『科学法則大全』 ブライアン・クルッグ 文
家族の日常生活を描いたイラストの中から、科学法則や自然現象を探し出す絵本です。イラストの次のページに法則や現象の名前、説明が載っています。(404/ク)



『食と栄養を学ぶための生物学』 堀田久子, 池晶子, 塚元葉子著
栄養士の専門科目を学ぶ際に必要となる生物学の基礎が解説されています。生物が苦手な人にも分かりやすいです。(460/ホ)



『筋肉大図鑑』 谷本道哉監修
筋肉のことがよくわかる世界一楽しい筋肉の図鑑です。筋肉のしくみや働きを知ることによって、より効率的に健康な体づくりができます。(491.16/タ)



『図解やさしくわかる強迫症』 岡嶋美代著
強迫症の原因・症状・治療法などが図説を用いて解説されています。自宅で行える行動治療も載っています。(493.74/オ)



『日本の食と栄養が創る新時代の健康』 中村丁次監修
日本の食環境への見直しや考察、日本人の健康を作る取り組み、SDGsの活動などが紹介されています。(498.55/コ/2021)



『作りおき&帰ってすぐでき! 決定版! たんぱく質のラクうまレシピ350』 竹並恵里栄養監修
筋力アップやダイエットにおすすめの高たんぱく質のおいしいレシピが満載です。(596/夕)



『ボクと、正義と、アンパンマン』 やなせたかし著
アンパンマンで有名な著者が、人の優しさや、心の痛み、生き方を綴った心温まるエッセイ集です。(914.6/ヤナ)

書名の前に●がついている本は分館に置いています。(●がない本は本館に置いています。)